

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690012Q1	科目番号 / Subject code	05690012
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	防災科学(自然災害とインフラ長寿命化)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 浩		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 浩		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 浩, 蔣 宇静, 森田 千尋		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	2年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	matsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	工学部1号館6階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2590		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日6時間目		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	本授業は、台風、水害などの自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。この授業を通して、自然災害に遭遇した際、インフラ構造物の劣化・損傷を発見した際に、将来実社会で遭遇しうる際に役立つ知識を修得することがてることが本授業のねらいである。		
授業到達目標 / Goal	自然災害におけるリスク管理と防災計画を理解するとともに、膨大な数のインフラ構造物の劣化・老朽化状況を把握しインフラ長寿命化の意義を理解する。そしてこのような事象に遭遇した際の対処方法を習得することを到達目標とする。		
授業方法(学習指導法) / Method	本授業では、PowerPointを用いたプレゼンテーション形式で授業を進めるとともに、ビデオ等も用いて理解を深める。 本授業では、講義、グループ活動、発表を通して「自然災害と防災」および「社会インフラ構造物の長寿命化」についての知識を深めていく。初めの数回は、講義形式の授業を数回取り入れ、この授業における前提の知識を得る。その後は、1グループ5名ほどのチームに分かれ発表に向けた調査を行う。調査では、図書館やインターネットで情報収集をし、チーム内で議論をしながら発表準備を行う。発表では、調査結果を報告するだけでなく、他のグループを評価しながら、新たな知識を身につけていく。		

<p>授業内容/Class outline/Con</p>	<p>[ ]内の数字は第何回目の講義であるかの目安。( )は到達目標。</p> <p>ガイダンス</p> <p>-----</p> <p>[自然災害と防災]</p> <p>-----</p> <p>自然災害概論と防災の考え方 (日本の 自然災害の特徴と防災・減災の考え方)      防災・減災のための社会システム (災害対策基本法、防災情報システム、気象警報等)      地域防災計画 (避難計画、ハザードマップ、自助・公助、高齢者等の避難)      地震・津波・火山災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)      豪雨・台風・高潮災害と防災対策 (災害による現象・被害と防災対策)      土砂災害と防災対策 (斜面崩壊、地すべり、土石流、液状化)      インフラと防災対策 (モニタリング、リアルタイム防災、道路災害等)</p> <p>-----</p> <p>[インフラ長寿命化]</p> <p>-----</p> <p>長崎県内の橋      橋を強くさせるためには      ペーパーブリッジコンテスト(強い橋を考える)      ペーパーブリッジコンテスト(強い橋を作る)      ペーパーブリッジコンテスト(コンテスト)      「橋は大丈夫か」「巨大都市再生への道」      「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」</p> <p>-----</p> <p>試験</p>
<p>キーワード/Key word</p>	<p>自然災害、リスク管理、防災計画、社会インフラ構造物、劣化・老朽化、インフラ長寿命化</p>
<p>教科書・教材・参考書/Textbook,Teaching material,and Reference book</p>	<p>[自然災害と防災] 高橋裕:川と国土の危機、岩波書店、この講義についてはプリント配布(高橋)</p> <p>[インフラ長寿命化] なし、必要に応じてプリント配布。</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Evaluation</p>	<p>レポート、グループプレゼンテーションの発表内容、最終試験(担当者で異なる。授業のはじめに連絡予定)で評価する。</p>
<p>受講要件(履修条件)/Requirements</p>	<p>モジュール を受講していること。</p>

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690014Q1	科目番号 / Subject code	05690014
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	暮らしと地球環境学(環境リスクと社会)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	早瀬 隆司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	早瀬 隆司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	早瀬 隆司, 藤井 秀道		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟42		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-hayase@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境432		
担当教員TEL / Tel	095-819-2721		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 10:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	環境汚染物質のリスクについて、リスクアセスメントの実際を通して科学や政治との関係について学び、それをもとに公共性の観点から環境リスクの管理のあり方について考えさせることをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	<p>リスクの主観的側面の大きさ及び範囲を理解する。</p> <p>リスクアセスメントや環境科学に含まれる科学的不確実性の存在を理解する。</p> <p>専門家主義とアカウンタビリティ、管理と公共性との間の競合を理解する。</p> <p>リスク管理における、市民の立場、役割及び責任を理解する。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	<p>以下の各項目に関する基礎的知識を学び、それについてグループで考察や議論を進める。</p> <p>リスクの主観性</p> <p>汚染物質による環境リスクのリスクアセスメントについての基礎的な手法</p> <p>リスクアセスメントに含まれる科学的不確実性</p> <p>専門家主義と公共性との間の競合</p> <p>市民参加の意義</p> <p>リスク情報の、環境リスク管理のための政策への活用</p>		
授業内容 / Class outline / Con	<p>第1回 「リスクは心の中にある」個人リスクと社会リスク</p> <p>第2回 水俣足尾</p> <p>第3回 科学技術と社会</p> <p>第4回 インドネシアの経験「格差」及び「自己責任」</p> <p>第5回 公害リスクから環境リスク</p> <p>第6回 環境の保全と環境保全上の支障の防止</p> <p>第7回 科学的不確実性(化学物質)</p> <p>第8回 科学的不確実性(化学物質、ダイオキシン)</p> <p>第9回 科学的不確実性(化学物質まとめ)マサチューセッツ予防原則プロジェクト</p> <p>第10回 同上</p> <p>第11回 科学的不確実性(温暖化問題)環境リスクの概念の拡張と不確実性の拡大IPCC</p> <p>第12回 政策決定における科学と価値 科学技術と公共性(小林論文)</p> <p>第13回 寺尾論文</p> <p>第14回 内藤論文</p> <p>第15回 まとめ 環境にやさしいを考える(おむつのLCA)</p> <p>科学技術で解決するか? 誰がリスクやその要因である科学を管理すべきか?</p>		
キーワード / Key word	リスク、科学的不確実性、政治、公共性、価値、公平		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書「地域環境政策」ISBN978-4-623-06357-4 資料 配布します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験及び授業への取り組み態度		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	平和、差別、貧困、環境・・・社会にある多様な問題。それらに無関心であることの弊害を考えましょう。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690014Q2	科目番号 / Subject code	05690014
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	暮らしと地球環境学(工学から見た安全安心(エネルギーと自然))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	桃木 悟		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	桃木 悟		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	桃木 悟, 山口 朝彦, 近藤 智恵子		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	momoki@nagasaki-u.ac.jp, ",tomo@"		
担当教員研究室/Laboratory	工学部1号館3階 基礎エネルギー工学G研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2532(金丸)/2528(桃木)/2531(山口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜：5校時(事前にe-mailで、予約するのが望ましい。)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本のエネルギーのあり方を考えるために、日本のエネルギー事情、資源(食料、化石燃料、レアメタル、鉄など)の今後、国民生活とエネルギー需給、IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかたを、安全の問題を踏まえてテーマとする。		
授業到達目標/Goal	日本と世界のエネルギーと資源の基本問題が説明できること。自分なりの問題解決策の第1歩を提案できること。		
授業方法(学習指導法)/Method	教員提示の資料や受講者が集めた資料などに基づき、講義を展開する。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	環境問題、化石燃料、原子力、エネルギーの質、地球温暖化、代替冷媒、食料増産		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	担当教員が、適時資料を配布するか、または、受講者各自にdownloadしてもらったURLを知らせる。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回の講義出席を原則とし、定期試験(70%)、3回のレポート(30%)で総合評価する。		
学生へのメッセージ/Message for students	日本は、天然資源のほとんどを外国に依存しているにも関わらず、エネルギーの問題は、1973年および1979年のオイルショックの後にはあまり関心を集めてこなかった。しかし、地球温暖化の問題や東日本大震災を経て、国民の全体の課題として広く関心を集めている。受講者は、常に新聞やテレビなどのメディアが発信するエネルギー関連の情報に常に注意を払い、疑問があったらすぐに自分で調べる態度を続けて欲しい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	概説, 準備, アンケート		
第2回	エネルギーとは: そもそもエネルギーとは何なのか, どのくらい重要なのかについて, それを " 定量的 " に議論する最低限の素養を身につけるための講義を行う。		
第3回	エネルギーに関する歴史: 需要と供給について定量的に考え方を交えながら, エネルギー利用技術と社会の状況に関する歴史について講義する。		
第4回	国内のエネルギー事情(1): ここ数年の日本国内のエネルギー事情に関し講義する。		
第5回	国内のエネルギー事情(2): 日本機械学会動力エネルギー技術部門の動向を踏まえた最新の状況について講義する。		
第6回	省エネルギーとヒートポンプの役割: ヒートポンプの基礎的知識を学び, 産業用および民生用ヒートポンプの活用事例と省エネルギー対策への効果について考える。また ヒートアイランド現象への影響についても言及する。		
第7回	冷凍・ヒートポンプサイクル: 冷凍・ヒートポンプサイクルの作動原理を理解し, 具体的に効率を計算出来るようになることを目的とする。また高効率化技術を紹介する。		
第8回	冷媒の安全性と環境への影響 I: 冷凍・ヒートポンプに使用される冷媒の種類とその毒性・安全性・オゾン層破壊係数・温暖化係数を比較し, オゾン層破壊と地球温暖化のメカニズムについて学ぶ		
第9回	冷媒の安全性と環境への影響 II: 冷媒に関わる規制や技術開発の動向を紹介し, NOAAが提唱するシナリオと地球環境変動の予測結果について議論する。		

第10回	未利用エネルギーの活用： 未利用エネルギーの一つである各種廃熱の熱源，温度レベルならびに排出量に関するデータを収集し，地中熱利用HP，河川や下水排熱，工場排熱を利用したHPや小型発電などの利用技術について議論する．
第11回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group I：気候変動の概況と予測、およびその科学的根拠を講義する。
第12回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group II：気候変動の影響を講義する。
第13回	IPCC第5次評価報告の概要 Working Group III：気候変動の緩和策を議論する。
第14回	IPCCの報告書をめぐる環境問題の捉えかた：IPCC評価報告書の社会への影響とさまざまな意見を議論する。
第15回	持続的社會に向けての取り組み：省エネルギー対策、再生可能エネルギーの開発、原子力の現状などを議論する。
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690014Q3	科目番号 / Subject code	05690014
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	暮らしと地球環境学(廃棄物と土壌・地下水汚染)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 啓		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 啓		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 啓, 西山 雅也, 朝倉 宏		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部、歯学部、工学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kei-naka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境地下水学研究室(環境科学部3階、環346)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2763		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時, 事前に連絡をとること		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	身近な環境問題である, 廃棄物の問題や, 地下水汚染, 土壌汚染についての知識を獲得すること		
授業到達目標 / Goal	廃棄物問題, 土壌・地下水汚染についての基本的事項を理解すること		
授業方法(学習指導法) / Method	講義, 演習及びグループによる課題への取り組みなど多様な方法により講義する		
授業内容 / Class outline / Con	<p>1. 「廃棄物と土壌・地下水汚染」とは(中川 啓教員)</p> <p>地下水汚染に関する内容(中川 啓教員)</p> <p>2. 世界の水資源と地下水の利用, 日本の水資源-表流水と地下水の利用</p> <p>3. 地下水とは-「量」の特徴</p> <p>4. 地下水とは-「水質」の特徴</p> <p>5. 地下水汚染とその対策技術, レポート課題の提示(2~5回に対する)</p> <p>廃棄物問題に関する内容(朝倉 宏教員)</p> <p>6. 廃棄物に関する基本的な背景に関する講義</p> <p>7. 廃棄物の発生抑制・リサイクルに関する講義, グループ分け, 次回宿題提示</p> <p>8. 廃棄物発生量の計算方法および削減目標と削減手法, 直線回帰法についてグループ内相互教習</p> <p>9. 教員による廃棄物発生抑制計画作成の練習課題提示, 学生による試算とグループ内討議</p> <p>10. レポート執筆および提出(6~9回に対する)</p> <p>土壌汚染に関する内容(西山雅也教員)</p> <p>11. 土壌の汚染(1) 概要</p> <p>12. 土壌の汚染(2) 土壌</p> <p>13. 土壌の汚染(3) 重金属類</p> <p>14. 土壌の汚染(4) 有機化合物, 農薬, その他</p> <p>15. 土壌の汚染(5) 関係する法律, レポート課題の提示(11~15回に対する)</p>		
キーワード / Key word	廃棄物, 土壌, 地下水		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に定めないが, 廃棄物, 地下水学, 土壌学に関するテキストに目を通すことをお勧めします		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	「廃棄物問題」「地下水汚染」「土壌汚染」の3つのカテゴリーに分けて講義するので, それらのレポートおよび講義への参加状況を採点し, それらの平均とする		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	講義内容と関連する書籍やテキストに目を通すこと		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690020Q1	科目番号 / Subject code	05690020
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	情報社会と情報システム(ICTとことば)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	福田 正弘		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	福田 正弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	福田 正弘, 全 炳徳		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟45(call3)		
対象学生(クラス等) / Object Student	医学部, 歯学部, 工学部, 環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	fukuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部553室		
担当教員TEL / Tel	819-2315		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水 3		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ICT機器やアプリケーションを自身の課題に即して具体的に活用することを通して、社会生活を支えているICTの意義とICTに支えられている社会の課題について主体的に学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	<p>1) 社会におけるICTの活用とその制御の仕組み、種々の課題について関心を持ち、主体的に課題解決に向け探求しようとする。</p> <p>2) ICTを制御している各種言語を理解し、ICT機器を使った表現活動を通してその意味を説明できる。</p> <p>3) ICTを活用した社会シミュレーションにおいて、協同して意思決定するとともに、社会認識上の意味を考えることができる。</p> <p>4) ICT機器の操作を通して、目的にあった適切な情報処理ができる</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	基本事項の講義の後、演習課題を提示、個人演習とともにグループワークを採り入れる。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>1 オリエンテーション</p> <p>2-8【1部 ICTを支える言語】</p> <p>9-15【2部 ICTを用いた意思決定】</p> <p>16 定期試験</p>		
キーワード / Key word	IT 言語 マッピング シミュレーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜、指示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>1部2部各50%で、合計60%以上が合格。</p> <p>欠席が3分の1以上の場合失格。</p> <p>*評価の方法・観点</p> <p>1部2部共に、授業中の学習状況、レポート等の課題の成果物、発表内容と態度、試験を総合的に判断する。グループによる活動については、グループの協力状況も評価の対象とする。</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements	特になし。希望者多数の場合は選考になる場合もある。		
学生へのメッセージ / Message for students	毎回の課題とグループワークを重視します。頑張ってください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	マッピングブラザを支えるICT言語とIT機器		
第3回	マッピングブラザを支えるICT言語を体験		
第4回	マッピングブラザを支えるICT言語を体験		
第5回	マッピングブラザを支えるICT機器を体験		
第6回	マッピングブラザを支えるICT機器を体験		
第7回	マイ・マッピングブラザの作成		
第8回	マイ・マッピングブラザの発表・評価		
第9回	ガイダンス・課題提示・グループワーク・シミュレーションのデモ		
第10回	シミュレーション1		

第11回	シミュレーション1 続き・シミュレーション結果の分析
第12回	発表準備・資料作成
第13回	発表と相互評価・反省1
第14回	発表と相互評価・反省2・まとめ
第15回	シミュレーション2
第16回	定期試験



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690021Q1	科目番号 / Subject code	05690021
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	異文化事情(アジアにおける人の移動と日本)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	南 誠		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	南 誠		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	南 誠		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Isk-minami@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	総合教育研究棟3F		
担当教員TEL/Tel	819-2926		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール(Isk-minami@nagasaki-u.ac.jp)連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	人の移動が活発に行われる今日のグローバル社会を生きる誰もが、人の移動によって生じる諸問題に直面する。この授業ではアジアという地域に焦点を定めて、人の移動にかかわる諸現象(移動の歴史、移動をもたらす諸要因や、人の移動による文化交流と新たな社会空間の生成など)を講義することで、アジアと日本の多文化状況や、異なる言語と文化を持つ人々との共生と協働について理解を深めます。		
授業到達目標/Goal	アジアにおける人の移動や、日本との関係に関する理解を深めつつ、人の移動によって惹起した具体的な諸現象や、日本国内で生活する外国住民の歴史と現状、および、日本の「多文化」化社会の実態を自分の言葉で説明できるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的には、パワーポイントを用いた講義形式による。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	移民・難民 エスニシティ 社会的包摂と排除 文化交流 多文化共生		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書はとくに指定しない。授業のなかで適宜に課題文献を紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(70%)、授業および討論への参加度(30%)		
学生へのメッセージ/Message for students	人の移動を考えることは、異文化交流のための知識を養うことでもあります。しかしそれ以上に、日本に住む外国住民の問題を他人事ではなく、自分も生活する日本の多文化化社会の課題として考えるようになることが大事です。本講義の聴講を通して、是非ともそうした感性を培ってください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	「人の移動」の概説		
第2回	日本人移民の略史		
第3回	日本をめぐる人の移動(戦前編)		
第4回	日本をめぐる人の移動(戦後編)		
第5回	日本人移動の影響 文化編(東アジアの場合)		
第6回	日本人移動の影響 歴史・記憶編(東アジアの場合)		
第7回	日本人移動(本国帰還)の影響(日本の場合)		
第8回	日本を生きる外国住民(在日コリアン)		
第9回	日本を生きる外国住民(中国系)		
第10回	日本を生きる外国住民(日系?)		
第11回	日本を生きる外国住民(難民と無国籍者)		
第12回	日本を生きる外国住民(その他)		
第13回	日本型多文化共生社会の試み		
第14回	地域社会と移民コミュニティ		
第15回	総括		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690021Q2	科目番号 / Subject code	05690021
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	異文化事情(アジアにおける人の移動と日本)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	賽漢卓娜		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	賽漢卓娜		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	賽漢卓娜		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	saihanjuna@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化1号館		
担当教員TEL/Tel	2918		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	1970年代以降、「グローバル化」の進展に伴い、ヒト・モノ・カネ・情報がボーダーレスに行き交う時代が到来した。なかでも、「ヒト」の移動(=移住現象)は、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドを背負った人々を「移民」として地球規模で移動させ、先進諸国・地域を中心に社会の「多文化化」を加速させた。本授業では、長らく単一民族神話によって語られてきたここ日本が、すでに「移民の時代」に突入しつつある状況を確認する。そこから目をそらすのではなく、多様な人々といかに協働しより良い社会を築いていくべきか、皆さんと一緒に考えていきたい。		
授業到達目標/Goal	履修者は、「より広い視野」を持つ社会の一員として、多様な文化的・社会的・民族的バックグラウンドをもった在日外国人を取り巻く困難な状況やその理由・背景を学び、かれらと「共に生きる(多文化共生)」大切さを発見してほしい。さらに、トランスナショナルな移動を見つめることによって、これまでの「社会」を国家内部の市民社会とだけ捉える見方を見直し、社会関係や社会空間が国家を超えて拡大していることを理解してほしい。		
授業方法(学習指導法)/Method	本授業は基本的に講義形式で行われますが、DVD等の視聴覚機材も利用します。またグループディスカッションもあります。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	移民 ジェンダー 教育 トランスナショナリズム 多文化共生		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	本授業では、教科書を指定せず、レジュメを用意します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	平常・課題: 30%、アクティブラーニング参加: 10%、レポート: 60%		
学生へのメッセージ/Message for students	身近な出来事や新聞の関連記事に常に注意を払っておくといいでしょう。また、講義において事前・事後に読んで欲しい資料は必ず目を通して頂きたいです。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	【イントロダクション】多文化な日本社会を生きること		
第2回	【世界の状況】グローバル化と「移民の時代」		
第3回	【理論枠組】社会学、トランスナショナルな移動、多文化共生		
第4回	【日本の状況】日本の多民族現状		
第5回	【日本の状況】日本の法制度と外国人労働者受け入れをめぐる論争		
第6回	【日本の状況】教育と多文化共生		
第7回	【日本の状況】「移民の女性化」と再生産労働		
第8回	【エスニックグループ】日系ブラジル人社会		
第9回	【エスニックグループ】日系ブラジル人社会		
第10回	【エスニックグループ】フィリピン人社会		
第11回	【エスニックグループ】多様な中国人社会		
第12回	【ケーススタディ】国際結婚を考える		
第13回	【ケーススタディ】アメラジアンを考える		
第14回	【ケーススタディ】グループワーク		
第15回	まとめ		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690022Q1	科目番号 / Subject code	05690022
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	大学生のための育児学(大学生の育児学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大石 和代		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大石 和代		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大石 和代, 永橋 美幸, 上野 美穂		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-oishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医学部保健学科5階大石和代研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7980		
担当教員オフィスアワー/Office hours	k-oishi@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	赤ちゃんへの関わりは既に妊娠中から始まっているが、親と子の絆形成に深く関係し、子どもの成長・発達、子どもの将来の人格形成に大きく影響を及ぼす。妊娠・出産、乳幼児の発育・発達と育児技術について学び、男女共同での育児への関わり及び育児しやすい社会について考える。		
授業到達目標/Goal	妊娠・出産・育児での男女の役割について説明できる。 胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。 いくつかの育児技術を行うことができる。 男女ともに子育てしやすい社会について考えることができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	妊婦体験やおもちゃ作り、育児技術の演習、グループワーク、親子との交流		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション~生命をつなぐ~(大石)</li> <li>2. 妊娠中からの親子のコミュニケーション(永橋)</li> <li>3. 妊婦体験とマザーリングマザー(永橋)</li> <li>4. 出産(大石)</li> <li>5. 新生児の能力と養護(永橋)</li> <li>6. 乳幼児の心身の発育・発達(永橋)</li> <li>7. 乳幼児の遊び(大石)</li> <li>8. おもちゃ作り(大石)</li> <li>9. 乳幼児の病気(上野)</li> <li>10. 乳幼児の事故(上野)</li> <li>11. 乳幼児の緊急時対策と応急措置(上野)</li> <li>13. 乳幼児との交流(大石)</li> <li>14. 子育て中の母親・父親との交流(外来講師)</li> <li>15. 男女ともに子育てしやすい社会について考える(大石)</li> </ol>		
キーワード/Key word	妊娠・出産・育児、胎児・新生児・乳幼児、育児技術、男女共同参画		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	講義資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト: 40% 演習・実習参加度: 30% 課題レポート: 30%		
受講要件(履修条件) / Requirements	授業外学習に当てるべき時間(週2時間以上)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505690023Q1	科目番号 / Subject code	05690023
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	トレーニングの科学(青年期の健康・体力増進)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中垣内 真樹, 山崎 浩則, 永江 誠治		
科目分類 / Class type	総合科学科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟43		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 10:30~12:30、16:00~17:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食生活、メンタルヘルス等について理解する。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。</li> <li>2. 青年期における健康づくりの意義について理解する。</li> <li>3. 精神的な健康について理解する。</li> <li>4. 健康における運動、スポーツの意義について理解する。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法) / Method	講義にグループワーク、討論、演習、地域イベント参加等を取り入れ、自ら考え、行動する学習方法を身につける。		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	健康、体力、スポーツ、食事、メンタルヘルス、ヘルスポロモーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業へ臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表およびレポート内容を総合して評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月7日 青年期に健康を考える～医療の観点から～ 山崎浩則(保健・医療推進センター)		
第2回	4月14日 青年期に健康を考える～ヘルスポロモーションの観点から～ 中垣内真樹(保健学科)		
第3回	4月21日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科)		
第4回	4月28日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科)		
第5回	5月12日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科)		
第6回	5月19日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科)		
第7回	5月26日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ 中垣内真樹(保健学科)		
第8回	6月2日 健康のための食生活について学ぶ ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士)		
第9回	6月9日 健康のための食生活について学ぶ ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士)		
第10回	6月16日 健康のための食生活について学ぶ ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士)		
第11回	6月23日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ 永江誠治(保健学科)		
第12回	6月30日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶ 永江誠治(保健学科)		
第13回	7月7日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加(チャレンジデーなど) 中垣内真樹(保健学科)		
第14回	7月14日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加(チャレンジデーなど) 中垣内真樹(保健学科)		
第15回	7月21日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加(チャレンジデーなど) 中垣内真樹(保健学科)		
第16回	7月28日 青年期の健康・体力についてのGW・まとめ 中垣内真樹(保健学科)		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505880101Q1	科目番号 / Subject code	05880101
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	男女共同参画のすすめ(自分のキャリアを考える講座 ~男女共同参画~)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	男女共同参画推進センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2382		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立てる。		
授業到達目標 / Goal	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人間像を知ること。ワークライフバランス・多様性容認の意味を理解し、自分のキャリア形成に関連付けることができるようになる。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義、グループワーク、実習		
授業内容 / Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介と自分を知るためのワーク 4/8</li> <li>2. 多様なライフスタイルにおけるワークライフバランス 4/15 DVD鑑賞と感想レポート</li> <li>3. 自分のキャリアを自分で考えるために 4/22</li> <li>4. ワークライフバランスとダイバーシティ 5/13</li> <li>5. 女性の活躍推進に必要なこと 5/20</li> <li>6. ヒト-命をつなぐ 5/27(大石)</li> <li>7. 妊娠・出産・育児を取り巻く社会変遷と現状 6/3(大石)</li> <li>8. 男性のワークライフバランス 6/10</li> <li>9. 潜在的な性別役割分担は存在するか? 6/17</li> <li>10. 将来の働く君のために 6/24</li> <li>11. 学問の分野での男女共同参画 7/1</li> <li>12. 長崎大学での男女共同参画の取組 7/8</li> <li>13. 多様性(ダイバーシティ)はなぜ必要か? 7/15(本間)</li> <li>14. キャリアにおける成功とはなにか? 7/22(本間)</li> <li>15. 学生のプレゼンテーション(成績評価) 7/29</li> </ol>		
キーワード / Key word	男女共同参画、ワークライフバランス、多様性、キャリア形成、自分探し		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポートとプレゼンテーション(60%)、出席(40%)		
備考(URL) / Remarks(URL)	<a href="http://nagasaki-ajisai.jp">http://nagasaki-ajisai.jp</a> 、 <a href="http://www.gender.go.jp">http://www.gender.go.jp</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける。また社会生活において他の人の考え方・価値観を容認することの重要性や、生活と仕事の両立・相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんのために有意義な講義にしていきたいと思いを。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505900908Q1	科目番号 / Subject code	05900908
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	口の健康・体の健康(口と健康)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村田 比呂司		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	村田 比呂司		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	村田 比呂司, 鮎瀬 卓郎, 小山 善哉, 山田 志津香		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟33		
対象学生(クラス等) / Object Student	選択科目: :工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	村田: hmurata@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	病院本館 8階839室		
担当教員TEL/Tel	(内線)村田:7690; 鮎瀬:7713; 山田7678; 小山:7679		
担当教員オフィスアワー/Office hours	村田: 水17:00~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	口腔機能の回復、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療について学ぶ。また加齢に伴う歯槽骨のコラーゲンの質の変化とその機序を知り、生涯健康な歯や骨を維持するための知識を習得する。東日本大震災での歯科医療支援活動についての意見交換も行う。		
授業到達目標/Goal	超高齢社会における義歯の役割および重要性、睡眠や呼吸機能障害の原因や治療、加齢による歯槽骨のコラーゲンの質の変化と抗加齢法、災害時での歯科医療支援活動についての重要性等を説明できる( )。		
授業方法(学習指導法)/Method	各グループにテーマを与え、これを調査し、発表を行わせる。最後に各教官がまとめとして解説等を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	超高齢社会・口腔機能・QOL・睡眠・呼吸機能・コラーゲン・災害支援		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特にないが、興味のある方は「長生きする入れ歯 科学的根拠に基づく知識と治療法(ブルーバックス、早川巖)、およびコラーゲンの話-健康と美をまもる高分子(中公新書、大崎茂芳)を参考にしてください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験および授業への貢献度により評価します。なお定期試験は記述式とします。 授業外学習に充てるべき時間: 週平均 2時間位、【成績評価項目】授業内の課題および授業参加度60%、定期試験40%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全授業の2/3以上の出席、および定期試験を受けないと成立しません。		
学生へのメッセージ/Message for students	疑問点および聞きたいことがあれば、遠慮なく質問してください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	口腔機能に関するテーマと調査方法等について説明、各グループで調査(村田)		
第2回	各グループで調査(村田)		
第3回	各グループで調査(村田)		
第4回	発表会、講義・解説(村田)		
第5回	睡眠に関する基礎的な生理機能(鮎瀬)		
第6回	睡眠時無呼吸症候群の病態の理解(鮎瀬)		
第7回	睡眠中の口腔の生理的機能の変化(鮎瀬)		
第8回	睡眠障害が関連する歯科的疾患の病態と最新の治療法(鮎瀬)		
第9回	説明、各グループで調査(山田)		
第10回	各グループで調査(山田)		
第11回	発表会(山田)		
第12回	歯槽骨のコラーゲンの加齢による変化(講義)(山田)		
第13回	東日本大震災・福島県での歯科巡回支援活動から学ぶ(小山)		
第14回	長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える(1)(小山)		
第15回	長崎および近隣地域における災害時歯科支援を考える(2)(小山)		





学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	201505900908Q2	科目番号 / Subject code	05900908
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	口の健康・体の健康(口と疾患)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 篤利		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 篤利		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 篤利, 柳口 嘉治郎, 黒木 唯文		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目		
対象年次 / Year	2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ayoshi@(吉村), kurofumi@(黒木), yanagi@(柳口)		
担当教員研究室/Laboratory	歯周病学准教授・講師室(吉村), 歯科補綴学教員室(黒木), 齲蝕学准教授・講師室(柳口)		
担当教員TEL/Tel	819-7682(吉村), 819-7693(黒木), 819-7678(柳口)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:00-17:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	顎関節障害、咀嚼障害、齲蝕、歯周病などの口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について理解し、口の健康維持について必要な知識を健康増進に活かす。		
授業到達目標/Goal	口の疾患の原因と症状、治療法、予防法について説明できる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式、小グループ討論形式、全体発表		
授業内容/Class outline/Con	1回目 顎関節障害・咀嚼障害(1)(黒木唯文) 2回目 顎関節障害・咀嚼障害(2)(黒木唯文) 3回目 顎関節障害・咀嚼障害(3)(黒木唯文) 4回目 顎関節障害・咀嚼障害(4)(黒木唯文) 5回目 齲蝕の原因と症状(1)(柳口嘉治郎) 6回目 齲蝕の原因と症状(2)(柳口嘉治郎) 7回目 齲蝕の治療と予防(1)(柳口嘉治郎) 8回目 齲蝕の治療と予防(2)(柳口嘉治郎) 9回目 齲蝕の治療と予防(3)(柳口嘉治郎) 10回目 歯周病の症状と治療(1)(吉村篤利) 11回目 歯周病の症状と治療(2)(吉村篤利) 12回目 歯周病の症状と治療(3)(吉村篤利) 13回目 歯周病の症状と治療(4)(吉村篤利) 14回目 歯周病の症状と治療(5)(吉村篤利) 15回目 歯周病の症状と治療(6)(吉村篤利)		
キーワード/Key word	顎関節障害・咀嚼障害・齲蝕・歯周病		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は特に使用しない。参考書は、授業を進めて行く中で、適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートなどの提出物、口頭試問、発表態度、試験		
受講要件(履修条件)/Requirements	開講された講義の3分の2以上に出席している者		
学生へのメッセージ/Message for students	モジュールで学習した内容は、復習しておくこと。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569000701	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	解放講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	学外非常勤講師		
担当教員TEL/Tel	09045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標/Goal	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式		
授業内容/Class outline/Con	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
キーワード/Key word	知識・態度・技能		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。ビデオ等を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30		
学生へのメッセージ/Message for students	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等はファイルにとじて、持参するようにお願いします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月8日 今なぜ人権教育か? 「私たちの町再発見」(1) (阿南重幸)		
第2回	4月15日 今なぜ人権教育か? 「私たちの町再発見」(2) (阿南重幸)		
第3回	4月22日 部落問題 ウソ?ホント?(阿南重幸)		
第4回	5月13日 日本の近代化とアイヌ問題(1)(阿南重幸)		
第5回	5月20日 日本の近代化とアイヌ問題(2)(阿南重幸)		
第6回	5月27日 在日朝鮮人ってどんな人?(1)(阿南重幸)		
第7回	6月3日 在日朝鮮人ってどんな人?(2)(阿南重幸)		
第8回	6月10日 ハンセン病と差別(1)(阿南重幸)		
第9回	6月17日 ハンセン病と差別(2)(阿南重幸)		
第10回	6月11日 教科書に見る部落問題(1)(阿南重幸)		
第11回	6月24日 教科書に見る部落問題(2)(阿南重幸)		
第12回	7月1日 これぞ不平等?(阿南重幸)		
第13回	7月8日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		
第14回	7月15日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		

第15回	7月22日 フィールドワーク「原爆と被差別部落とクリシタン」(阿南重幸)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569000702	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	解放講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育G棟38		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	学外非常勤講師		
担当教員TEL/Tel	09045868939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	21世紀は「人権の世紀」ともいわれる。本講座は、部落問題を中心に今日社会におけるさまざまな諸問題を、人権の視点で考察することを目的とする。		
授業到達目標/Goal	講座開設の意義を踏まえ、世界の人権状況、国内においては、部落問題・アイヌ問題・ハンセン病回復者への差別・在日外国人・冤罪事件の諸状況を歴史的に考察し、理解を深める。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式		
授業内容/Class outline/Con	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、今なお存在する日本の人権課題について、学ぶことを目的とする。人権の観点から見た部落問題、アイヌ問題、在日外国人問題、ハンセン病に係わる問題や冤罪事件等を取り上げ、とくに部落問題ではあやまった歴史観を質したい。また、地域史として、長崎の被差別部落をキリスト教、原爆との関連において取り上げる。		
キーワード/Key word	知識・態度・技能		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは用いない。プリント、資料等を配布する。ビデオ等を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートの成績、出席状況を考慮して行う。 レポート 70 出席 30		
学生へのメッセージ/Message for students	正確な知識を身に付けるようにしてください。また、毎回配布の資料等はファイルにとじて、持参するようにお願いします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 今なぜ人権教育か?(1) 「私たちの町再発見」(阿南重幸)		
第2回	10月7日 今なぜ人権教育か?(2) ワークショップ(阿南重幸)		
第3回	10月14日 部落問題 ウソ?ホント?(阿南重幸)		
第4回	10月21日 日本の近代化とアイヌ問題(1)(阿南重幸)		
第5回	10月28日 日本の近代化とアイヌ問題(2)(阿南重幸)		
第6回	11月4日 在日朝鮮人ってどんな人?(1)(阿南重幸)		
第7回	11月11日 在日朝鮮人ってどんな人?」(2)(阿南重幸)		
第8回	11月18日 ハンセン病と差別(1)(阿南重幸)		
第9回	11月25日 ハンセン病と差別(2)(阿南重幸)		
第10回	12月2日 教科書に見る部落問題(1)(阿南重幸)		
第11回	12月9日 教科書に見る部落問題(2)(阿南重幸)		
第12回	12月16日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		
第13回	1月6日 冤罪について、二・三の具体的事例を中心として(藤澤秀雄)		
第14回	1月13日 人権問題を解決するためのプログラム(1)(阿南重幸)		

第15回	1月20日 人権問題を解決するためのプログラム(2)ワークショップ(阿南重幸)
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569001101	科目番号 / Subject code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	全学乗船実習		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高山 久明		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高山 久明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高山 久明		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kyumei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	水産学部本館3F東階段突当り右前		
担当教員TEL / Tel	内線2809		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	練習船による航海実習、運用実習、漁業実習、海洋観測実習及びデッキワークなど		
授業到達目標 / Goal	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、団体生活を行い、協調性・寛容性を養い船内生活を行える。また、各実習を行い、船の運航に慣れる。		
授業方法(学習指導法) / Method	各実習の事前説明を行い資料・映像を通して行い、その後各実習を体験し慣れるとともに身につける。		
授業内容 / Class outline / Con	航海実習、運用実習、漁業実習、観測実習及びデッキワークなど		
キーワード / Key word	海、練習船、漁業実習・航海実習など乗船実習、船上体験		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	事前説明会及び乗船中に配布された資料など		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート課題提出、乗船実習内容を理解して課題提出が出来れば合格		
受講要件(履修条件) / Requirements	乗船実習前の事前説明会に出席すること。		
学生へのメッセージ / Message for students	陸上とは違う特殊環境下の海上に浮かぶ船に乗ることで、日常性を離れた生活を経験をし、日々何気なく過ごしている現在の自分の日常生活の環境が、いかに恵まれているか、素晴らしいものであるか、再認識できる機会にしてください。また、大自然の海、船の素晴らしさも再認識してください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569061401	科目番号 / Subject code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	オランダの文化		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟41		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Goal	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材(powerpoint)を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。		
授業内容/Class outline/Con	ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることで北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験70%、授業中の提出物30%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則		
学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オランダの紹介		
第2回	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス		
第3回	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展		
第4回	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教		
第5回	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルランデン7州連邦共和国の誕生		
第6回	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち(ファン・エイク、プリューゲルなど)		
第7回	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流		
第8回	17世紀のオランダ 黄金時代の芸術(レンブラント・フェルメールなど)・世界貿易中心のオランダ		
第9回	17世紀のオランダ 黄金時代の学者たち・黄金時代の英雄たち・奴隷制		
第10回	第10課 18・19世紀のオランダ ナポレオンの時代・ネーデルラント王国の誕生		
第11回	19・20世紀のオランダ ゴッホの芸術・女性権利運動・第1次世界大戦・20世紀の芸術(モンドリアンなど)		
第12回	20世紀のオランダ 第2次世界大戦・インドネシアの独立		
第13回	オランダの宗教・祭り・伝統		
第14回	オランダの教育・政治・世界の中のオランダ		
第15回	講義の総括		
第16回	定期試験		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569061501	科目番号 / Subject code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	オランダの言語		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	info@ryuumon.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	初級レベルのオランダ語入門講義です。授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標/Goal	初級レベルのオランダ語ができるようになります。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業方法(学習指導法)/Method	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。 この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	授業では、資料の第1課 自己紹介から始まります。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。 。基本の文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材プリント配布 CD-ROM 100円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	教材 : プリント教材 毎回配布します。 成績評価の方法・基準等 成績評価は、 定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかりと、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介 (現在形の作り方・動詞活用)		
第2回	相手の事を尋ねる (一般疑問文・疑問詞を伴う疑問文)		
第3回	相手の事を尋ねる (人称代名詞・否定文)		
第4回	自己紹介 (形容詞・副詞)		
第5回	第1回~第4回の復習		
第6回	家族の紹介、時計を読む (比較級と最上級)		
第7回	一日の予定 (名詞の単数・複数形・時刻と場所)		
第8回	一週間の予定 (助動詞の使い方)		
第9回	約束を交わす (勧誘表現)		
第10回	第5回~第8回の復習		
第11回	レストランでの会話 (過去時制)		
第12回	相手の事を尋ねる (現在完了形)		
第13回	道を探る (命令形)		

第14回	第9回～第11回の復習
第15回	講義の総括 会話の発表
第16回	定期試験

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569062801	科目番号 / Subject code	05690628
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	長崎学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	姫野 順一, 市川 智生		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟21		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ポルトガルやスペイン、オランダや中国、さらにはイギリスやアメリカ、アフリカなど、多様な国や地域と交流し続けてきた長崎の、多様な機能と歴史の成り立ちを、「長崎学」という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標 / Goal	長崎の歴史を総合的に理解できる能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	記録文書の文字情報、絵画や古写真といった映像情報、器物などの実物情報などに触れながら、長崎の歴史を体系的・総合的に学習する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	南蛮貿易、キリシタン、唐人貿易、出島、居留地、蘭学、通詞、古写真、坂本龍馬、世界遺産		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書：姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、同『古写真に見る幕末明治の長崎』（明石書店）、新『長崎市史』全四巻（長崎市）		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出する（55%）。 中間に最終レポートの計画書を提出する（15%）。 長崎に関（30%）するテーマを自分で決めて、最終レポートを提出する。 以上を集計して総合的に評価する。		
学生へのメッセージ / Message for students	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	地域の学としての長崎学：長崎・シナ海・インド洋（姫野順一）		
第2回	長崎の誕生と南蛮文化の伝来（姫野順一）		
第3回	南蛮貿易の展開（姫野順一）		
第4回	唐人貿易と長崎（姫野順一）		
第5回	唐人文化の伝来（姫野順一）		
第6回	キリシタンの弾圧：殉教・棄教・潜伏・隠れ（姫野順一）		
第7回	鎖国と出島の機能（姫野順一）		
第8回	近世長崎の統治機構（姫野順一）		
第9回	長崎外国人居留地の形成（姫野順一）		

第10回	長崎における医学の歴史（市川智生）
第11回	洋学と坂本龍馬（姫野順一）
第12回	写真術の伝来と上野彦馬（姫野順一）
第13回	幕末明治長崎の宗教伝道（姫野順一）
第14回	軍事拠点としての長崎（市川智生）
第15回	世界遺産と長崎のまちづくり（姫野順一）
第16回	予備日

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150569062802	科目番号 / Subject code	05690628
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	長崎学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	姫野 順一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	姫野 順一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	姫野 順一, 市川 智生		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟13		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	himeno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ポルトガルやスペイン、オランダや中国、さらにはイギリスやアメリカ、アフリカなど、多様な国や地域と交流し続けてきた長崎の、多様な機能と歴史の成り立ちを、「長崎学」という地域学の体系で理解する。		
授業到達目標 / Goal	長崎の歴史を総合的に理解できる能力を身につける。		
授業方法(学習指導法) / Method	記録文書といった文字情報、絵画や古写真といった映像情報、器物などの現物情報に触れながら、長崎の歴史を体系的・総合的に学習する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	南蛮貿易、キリシタン、唐人貿易、出島、居留地、蘭学、通詞、古写真、坂本龍馬、世界遺産		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	参考書：姫野順一著『龍馬が見た長崎』（朝日選書）、同『古写真に見る幕末明治の長崎』（明石書店）、新『長崎市史』全四巻（長崎市）		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回講義の概要をまとめ講義に対する感想を書いて提出し評価する（55%）。長崎に関するテーマを自分で決めて、中間でその執筆計画を提出する（15%）。最終レポートを提出する（30%）。以上を集計して最終的な総合評価とする。		
学生へのメッセージ / Message for students	図書館の郷土資料コーナーやネットで関連することを調べる習慣をつける。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	地域の学としての長崎学：長崎・シナ海・インド洋（姫野順一）		
第2回	長崎の誕生と南蛮文化の伝来（姫野順一）		
第3回	南蛮貿易の展開（姫野順一）		
第4回	唐人貿易と長崎（姫野順一）		
第5回	唐人文化の伝来（姫野順一）		
第6回	キリシタンの弾圧：殉教・棄教・潜伏・隠れ（姫野順一）		
第7回	鎖国と出島の機能（姫野順一）		
第8回	近世長崎の統治機構（姫野順一）		
第9回	長崎外国人居留地の形成（姫野順一）		

第10回	長崎における医学の歴史（市川智生）
第11回	洋学と坂本龍馬（姫野順一）
第12回	写真術の伝来と上野彦馬（姫野順一）
第13回	幕末明治長崎の宗教伝道（姫野順一）
第14回	軍事拠点としての長崎（市川智生）
第15回	世界遺産と長崎のまちづくり（姫野順一）
第16回	予備日

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150588006701	科目番号 / Subject code	05880067
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	データの科学		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宰		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宰		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宰		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟24		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	大学教育イノベーションセンター・アドミッション部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-2117		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(LACS掲示板, eメール等)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は「データによって現象を理解する」ために必要な、データを収集、整理、表現、分析する際の基本的な心構えと知識、技能を身につけることを目的とする自由選択科目です。なお取り扱うデータは主として社会科学領域のものとなります。		
授業到達目標/Goal	データを収集、整理、表現、分析する際の基本的な心構えを理解するとともに、基礎的な知識と技能、データを批判的に吟味する基礎的力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義と演習で授業を進めます。演習では資料収集、データの整理と表現、簡単な分析等を行います。グループでの活動を取り入れたいと考えていますがどうするかは受講者次第です。授業に関する連絡、資料配布、課題提出等にLACSを積極的に利用します。		
授業内容/Class outline/Con	次の項目について講義・演習を行う予定です。 ・データに基づく主張いろいろ ・データの集め方さまざま ・データの整理と表現 ・データを読む ・データをさらに読む ・データから推測する ・データに基づいて主張する ・(モデルに基づくデータの分析)		
キーワード/Key word	データ 収集 整理 表現 分析		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料等を配布します。テキストは指定しません。必要に応じて参考文献等を示します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末試験(50%)、課題、授業への積極的関与の程度など(計50%)によって総合的に評価します。		
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではパソコンを利用します。オフィスソフトを不自由なく操作できることを前提としています。授業時間中のサポートは原則として行いません。また、授業外であっても、MacOS以外についてはよく知りませんのでサポートしかねます。あらかじめご了承ください。		

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150590090501	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	平和講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清, 篠崎 正人, 安部 俊二, 黒滝 直弘		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育B棟44		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部 1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜午後4 - 5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標 / Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法(学習指導法) / Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容 / Class outline / Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
キーワード / Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド・DVD・ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	受講要件は特にない。		
備考(URL) / Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争・暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。「イスラム国」邦人人質事件などの問題にも関心に向けてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月8日 戸田 ナガサキから平和学する。原爆の非人道性と違法性(戦争犯罪)。核兵器と核発電。		
第2回	4月15日 戸田 第二次大戦におけるドイツ、日本、米国の戦争犯罪の比較		
第3回	4月22日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、ベトナム枯葉剤作戦、劣化ウラン弾		
第4回	5月13日 安部俊二 近代日本の教育(小学校)		
第5回	5月20日 安部 近代日本の教育(大学)		
第6回	5月27日 安部 近代日本の教育(軍隊1)		
第7回	6月3日 安部 近代日本の教育(軍隊2)		
第8回	6月10日 川野浩一 私の被爆体験		
第9回	6月17日 山崎年子 二重被爆の父と生きる		
第10回	6月24日 西岡由香 世界から見たナガサキ 90日間世界一周		
第11回	7月1日 西岡 いのちを守るまちづくり		



第12回	7月8日 篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保1
第13回	7月15日 篠崎 有事体制と長崎・佐世保2
第14回	7月22日 黒滝直弘 健康格差について1
第15回	7月29日 黒滝 健康格差について2
第16回	定期試験は行いません

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150590090502	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	平和講座		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清, 関口 達夫, 国武 雅子, 富塚 明		
科目分類 / Class type	総合科学科目, A科目群 総合科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育C棟16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部 1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4 - 5時。在室のときはいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、ビデオ・DVD・スライドなども利用する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれのテーマを掲げて講義する。		
キーワード/Key word	昭和史、戦争、暴力、平和、原爆、原発、劣化ウラン、枯葉剤、イラク戦争、構造的暴力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド・DVD・ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	受講要件は特になし。		
備考 (URL) /Remarks(URL)	<a href="http://todakiyosi.web.fc2.com/">http://todakiyosi.web.fc2.com/</a>		
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争・暴力と平和をめぐる世界と日本の動向に関心を持ってほしい。「イスラム国」人質事件などの問題にも関心に向けてほしい。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月30日 戸田 ナガサキから平和学する 原爆の非人道性と違法性(戦争犯罪)		
第2回	10月7日 藤田祐幸 福島第一原発事故		
第3回	10月14日 藤田 日本の政策と潜在的核武装		
第4回	10月21日 国武雅子 女性の戦争協力		
第5回	10月28日 国武 銃後の生活		
第6回	11月4日 国武 日本軍「慰安婦」問題1		
第7回	11月11日 国武 日本軍「慰安婦」問題2		
第8回	11月18日 小峰秀孝 私の被爆・被爆後体験		
第9回	11月25日 山崎年子 二重被爆の父と生きる		
第10回	12月2日 富塚明 核兵器廃絶運動と原爆症認定裁判		
第11回	12月9日 富塚 日米関係を考える		

第12回	12月16日 戸田 第二次大戦におけるドイツ、日本、米国の戦争犯罪の比較
第13回	1月6日 戸田 米国の戦争犯罪 原爆、ベトナム枯葉作戦、劣化ウラン弾
第14回	1月13日 関口達夫 長崎原爆を報道する 1
第15回	1月20日 関口 長崎原爆を報道する 2 集団的自衛権問題
第16回	定期試験は行いません。

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 5
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150590090601	科目番号 / Subject code	05900906
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	キャリア概論		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深尾 典男		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	深尾 典男		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	深尾 典男, 坂巻 正伸, 川崎 昌子		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	広報戦略本部 (事務局棟 2F)		
担当教員TEL/Tel	819-2008		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:30 - 19:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己と社会の関係について学ぶ</li> <li>・社会参画のために必要とされるスキルについて学ぶ</li> <li>・大学での学びが社会人としての素養にどのように関係するかを理解する</li> <li>・勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方や行動につなげるための手法を身に着ける。</li> </ul>		
授業到達目標/Goal	社会参画に対する意識を高めることを授業の狙いとする、授業を通して自らのキャリアデザインについて考えると同時に、学士課程教育で身につけるべき素養についての目標設定を行う。		
授業方法 (学習指導法) /Method	配布するレジュメに基づいて授業を進める。適宜討論の時間を設けると同時に、受講生は授業内で発表を行う。多面的な考え方、基本的な素養を身に着けるために、ゲストスピーカーも招聘する予定。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	キャリア、社会人基礎力、コミュニケーション、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使いません。授業計画に沿ってパワーポイント等を使用して講義を行います。関係する資料等については、eラーニングシステムを通じて配布することもあります。参考データ、資料は随時提示します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席状況と授業態度、予習・復習の状況、レポートの提出状況および内容を総合的に評価します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全講義に出席できることを受講要件とします。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	キャリア概論の概要と狙い		
第2回	社会理解 1 / 働くことの意味		
第3回	社会理解 2 / 社会の中にはどのような組織があるか?		
第4回	社会理解 3 / 組織のなかでどのように役割を果たすか?		
第5回	社会参画で求められる素養 1 / 「前に踏み出す力」と「考え抜く力」		
第6回	社会参画で求められる素養 2 / 「チームで働く力」		
第7回	社会参画で求められる素養 3 / 社会人基礎力の具体事例 1		
第8回	社会参画で求められる素養 4 / 社会人基礎力の具体事例 2		
第9回	能力を高める 1 / 社会参画のための具体的な能力の総括		
第10回	能力を高める 2 / 文章表現の基礎		
第11回	能力を高める 3 / コミュニケーションの基礎		
第12回	能力を高める 4 / プレゼンテーションの基礎		
第13回	キャリアプランの発表 1 / プレゼンの採点		
第14回	キャリアプランの発表 2 / プレゼンの採点		
第15回	キャリア概論総括 / 大学の学びと社会参画		
第16回			